

対象校No. 633
注4

学校コード F114310104794
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
神奈川工科大学 工学部 応用化学生物学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人幾徳学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営管理本部総務課
職名・氏名	オガタ ユカ 尾形 友香
電話番号 (夜間)	046-241-1214 (内線:2305)
e-mail	soumu@kait.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

工学部

＜応用化学生物学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人幾徳学園

(2) 大学名

神奈川工科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒243-0292

神奈川県厚木市下荻野1030

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカベ ケンイチロウ) 中部 謙一郎 (令和2年9月)		
学長	(コミヤ カズミ) 小宮 一三 (平成21年4月)		
学部長	(サイトウ タカシ) 齋藤 貴 (令和6年4月)		
学科長等	(コイケ アユミ) 小池 あゆみ (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 応用化学生物学科 学士(工学)	工学関係	4年	145人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	580人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	145人 () []	人 () []	-	0.49倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	400 [15]	() []	-			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	388 [14]	() []	-			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	375 [12]	() []	-			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	72 [4]	() []	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.49	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、**留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	72 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 応用化学生物学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤教育	アカデミックICTスキル	1前	1								1	
	専門分野概論	1前	1			2						
	理工学入門	1前	1								6	
	スタディスキル	1前	1								2	
	倫理系											
	技術者倫理	3前・後	2								1	
	生命倫理	3前・後	2								1	
	現代社会講座	1後	2								7	
	a群	経済の科学	2前・後・3前	2								2
		歴史の科学	2前・後・3前	2								2
		社会の科学	2前・後・3前	2								2
		文化の科学	2前・後・3前	2								2
		グローバル化の科学	2前・後・3前	2								1
		心の科学	2前・後・3前	2								3
		日本国憲法	2前・後・3前	2								3
		環境論	2前・後・3前	2								2
		人文社会科学アクティブ演習	3前・後	2								4
		[教職] 学校と教育の歴史	1後	2								1
	[教職] 教育心理学	1後	2								1	
	[教職] 教職概論	1前・後	2								5	
b群	哲学	3前・後・4前	2								2	
	文学	3前・後・4前	2								2	
	心理学	3前・後・4前	2								2	
	倫理学	3前・後・4前	2								1	
	教育学	3前・後・4前	2								2	
	[教職] 教育相談	3後	2								1	
	[教職] 教育課程論	3後	2								1	
c群	政治学	3前・後・4前	2								2	
	経済学	3前・後・4前	2								2	
	法学	3前・後・4前	2								2	
	社会学	3前・後・4前	2								2	
	経営学	3前・後・4前	2								1	
	[教職] 教育行政論	2後	2								1	
[教職] 総合的な学習の時間の理論と実践	2後	2								1		
健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1								3	
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1								2	
	身体活動・スポーツ論	2前	1								1	
	生涯スポーツ実習	2後	1								1	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基盤教育	アカデミックICTスキル	1前	1			1		1			6	
	専門分野概論	1前	1			14	6	1			2	
	理工学入門	1前	1								15	
	スタディスキル	1前	1								2	
	倫理系											
	技術者倫理	3前・後	2								1	
	生命倫理	3前・後	2								1	
	現代社会講座	1後	2								7	
	a群	経済の科学	2前・後・3前	2								2
		歴史の科学	2前・後・3前	2								2
		社会の科学	2前・後・3前	2								2
		文化の科学	2前・後・3前	2								2
		グローバル化の科学	2前・後・3前	2								1
		心の科学	2前・後・3前	2								3
		日本国憲法	2前・後・3前	2								3
		環境論	2前・後・3前	2								2
		人文社会科学アクティブ演習	3前・後	2								4
		[教職] 学校と教育の歴史(廃止)	1後	2			0					0
	[教職] 教育心理学(廃止)	1後	2			0					0	
	[教職] 教職概論(廃止)	1前・後	2			0					0	
b群	哲学	3前・後・4前	2								2	
	文学	3前・後・4前	2								2	
	心理学	3前・後・4前	2								2	
	倫理学	3前・後・4前	2								1	
	教育学	3前・後・4前	2								2	
	[教職] 教育相談(廃止)	3後	2			0					0	
	[教職] 教育課程論(廃止)	3後	2			0					0	
c群	政治学	3前・後・4前	2								2	
	経済学	3前・後・4前	2								2	
	法学	3前・後・4前	2								2	
	社会学	3前・後・4前	2								2	
	経営学	3前・後・4前	2								1	
	[教職] 教育行政論(廃止)	2後	2			0					0	
[教職] 総合的な学習の時間の理論と実践(廃止)	2後	2			0					0		
健康・スポーツ系	健康・スポーツ科学実習Ⅰ	1前	1								2	
	健康・スポーツ科学実習Ⅱ	1後	1								3	
	身体活動・スポーツ論	2前	1								1	
	生涯スポーツ実習	2後	1								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎教育	英語基礎	英語 I	1前	1							2	
		英語 II	1前後	1							3	
		英語 III	1前・後・2前	1							8	
		英語 IV	1前・2前・後	1							5	
		英語 V	2前・後	1							6	
	言語系	言語応用	科学技術英語 I	3前	1							1
			科学技術英語 II	3後	1							1
			英会話 I	1前・後	1							3
			英会話 II	1後	1							3
			総合英語演習	1前・後・2前	1							1
			TOEIC I	2前・3前・後	1							2
			TOEIC II	3前・後	1							2
	b 群	日本語表現技術	1後・2前	2							3	
		プレゼンテーション技術	2前・後	2							3	
		技術文章の書き方	3前・後	2							1	
	数理情報系	身の回りの数学	1～3	2				1			3	
		実感する科学	1前	2				1			2	
		情報・A I リテラシー (情報基礎)	1前	2			1	1			1	
		A I とデータサイエンス (情報応用)	2前・後	2			1				10	
	キャリア系	キャリア設計 I	1後	1							1	
キャリア設計 II		2前	1							1		
キャリア設計 III		3前	1							1		
社会人に向けての準備講座		4前	1							1		
企業特別講座		1～4	1							1		
インターンシップ I		2～4	2							1		
インターンシップ II		3～4	3							1		
課題解決型インターンシップ		1～4	2							1		
産学連携プロジェクト		3～4	2							1		
小計 (65科目)	—	14	92		3	1	1	0	0	72		
専門教育科目	専門基礎科目	微分積分学 I - c	1後	3							3	
		線形代数 I - a	2前	2							1	
		確率統計	2後	2							1	
		基礎化学 I - a	1前	2							2	
		基礎化学 I - b	1前	2							2	
		基礎化学 II - a	1後	2							2	
		基礎化学 II - b	1後	2							1	
		基礎力学 I - a	2前	2							2	
		基礎力学 II - a	2後	2							1	
		基礎電磁気学 I - a	3前	2							2	
		基礎電磁気学 II - a	3後	2							1	
		地学概論 I	2前	2							1	
		地学概論 II	2前	2							1	
		物理・化学ユニットプログラム	3後	3							9	
		データサイエンスプログラム入門	2前	2							1	
		統計データ解析基礎	2後	2							1	

【令和 6 年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎教育	英語基礎	英語 I	1前	1							2	
		英語 II	1前後	1							3	
		英語 III	1前・後・2前	1							8	
		英語 IV	1前・2前・後	1							5	
		英語 V	2前・後	1							6	
	言語系	言語応用	科学技術英語 I	3前	1							1
			科学技術英語 II	3後	1							1
			英会話 I	1前・後	1							3
			英会話 II	1後	1							3
			総合英語演習	1前・後・2前	1							1
			TOEIC I	2前・3前・後	1							2
			TOEIC II	3前・後	1							2
	b 群	日本語表現技術	1後・2前	2							4	
		プレゼンテーション技術	2前・後	2							3	
		技術文章の書き方	3前・後	2							1	
	数理情報系	身の回りの数学	1～3	2							3	
		実感する科学	1前	2					2		1	
		情報・A I リテラシー (情報基礎)	1前	2			2	1	1		1	
		A I とデータサイエンス (情報応用)	2前・後	2			1				10	
	キャリア系	キャリア設計 I	1後	1							1	
キャリア設計 II		2前	1							1		
キャリア設計 III		3前	1							1		
社会人に向けての準備講座		4前	1							1		
企業特別講座		1～4	1							1		
インターンシップ I		2～4	2							1		
インターンシップ II		3～4	3							1		
課題解決型インターンシップ		1～4	2							1		
産学連携プロジェクト		3～4	2							1		
小計 (68科目)	—	14	78		14	6	2	0	0	87		
専門教育科目	専門基礎科目	微分積分学 I - c	1後	3							3	
		線形代数 I - a	2前	2							1	
		確率統計	2後	2							1	
		基礎化学 I - a	1前	2							2	
		基礎化学 I - b	1前	2							1	
		基礎化学 II - a	1後	2							2	
		基礎化学 II - b	1後	2							1	
		基礎力学 I - a	2前	2							2	
		基礎力学 II - a	2後	2							1	
		基礎電磁気学 I - a	3前	2							2	
		基礎電磁気学 II - a	3後	2							1	
		地学概論 I	2前	2							1	
		地学概論 II	2前	2							1	
		物理・化学ユニットプログラム	3後	3							8	
		データサイエンスプログラム入門	2前	2							1	
		統計データ解析基礎	2後	2							1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基本科目	応用化学概論	1前	1			1	1						
	生物工学概論	1後	1			2	1						
	有機化学	1後	2			1	1				1		
	分析化学	1後	2			2	2						
	生化学Ⅰ	2前・後	2			1	1						
	生化学Ⅱ	2後・3前	2								1		
	物理化学基礎	2前	2			1	1						
	化学工学基礎	2後	2				1						
	専門基礎科目	地球と生命の元素	2前	2					1				1
		非金属元素の化学	2前	2						1			1
身の回りの金属元素		2後	2							1		1	
金属元素の化学		2後	2								1	1	
医薬品の効果と反応		2前	2									1	
有機官能基の化学		2前	2			1							
化学反応はなぜ進行するのか		2前	2					1				1	
化学反応の応用技術		2後	2									1	
バイオ工学基礎		2前	1			1							
生物無機化学		2前	2			1							
生物有機化学		2前	2			1							
バイオ物理化学Ⅰ		2前	2			1							
バイオ物理化学Ⅱ		2後	2				1						
微生物学		2前	2			1							
分子生物学		2後	2			1							
細胞生物学		2前	2									1	
遺伝子工学	2後	2					1						
専門教育科目	化学反応工学	3後	2			1							
	化学技術と分離操作	3前	2			1							
	化学と生活入門	2後	2			1							
	マテリアル反応化学	3前	2			2							
	ライフ材料化学	3後	2			1							
	高分子科学	3前	2			1							
	エネルギー化学入門	2後	2			1							
	エネルギー材料化学	3前	2			1							
	化学プラント工学	3後	2									1	
	エネルギーシステムデザイン	3後	2			1							
	応用微生物学	2後	2			1							
	発生生物学基礎	2前	2			1							
	進化生物学Ⅰ	2前	2			1							
	進化生物学Ⅱ	2後	2			1							
	海洋生物学	3後	2									1	
	植物科学	3前	2			1							
	植物バイオテクノロジー	3前	2									1	
	動物バイオテクノロジー	3後	2			1							
	生物工学	3後	2			1							
	バイオ製品科学	2後	2			1							
	機器分析	2後	2			1							
	エンジニアリング・デザインと生物模倣技術	3後	2			1						1	
	生命科学Ⅰ	1前	2			1						1	
	生命科学Ⅱ	1後	2			1	1						
	生命有機化学Ⅰ	2後	2			1							
	生命有機化学Ⅱ	3後	2			1							
	生命物理化学	2前	2			1							
	免疫化学	3前	2									1	
	神経生物学	3前	2			1							
	発生生物学	3後	2			1							
進化生態学	3後	2									1		
脳科学	3後	2			1								
バイオイノフオマティクス	3前	2									1		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基本科目	応用化学概論	1前	1			4	3						
	生物工学概論	1後	1			7	5					1	
	有機化学	1後	2			1							
	分析化学	1後	2			2	1					1	
	生化学Ⅰ	2前・後	2			1							
	生化学Ⅱ	2後・3前	2									1	
	物理化学基礎	2前	2			1							
	化学工学基礎	2後	2				1						
	専門基礎科目	地球と生命の元素	2前	2									1
		非金属元素の化学	2前	2									1
身の回りの金属元素		2後	2									1	
金属元素の化学		2後	2									1	
医薬品の効果と反応		2前	2									1	
有機官能基の化学		2前	2			1							
化学反応はなぜ進行するのか		2前	2									1	
化学反応の応用技術		2後	2									1	
バイオ工学基礎		2前	1			1							
生物無機化学		2前	2			1							
生物有機化学		2前	2			1							
バイオ物理化学Ⅰ		2前	2			1							
バイオ物理化学Ⅱ		2後	2				1						
微生物学		2前	2			1							
分子生物学		2後	2			1							
細胞生物学		2前	2									1	
遺伝子工学	2後	2					1						
専門教育科目	化学反応工学	3後	2			1							
	化学技術と分離操作	3前	2			1							
	化学と生活入門	2後	2			1							
	マテリアル反応化学	3前	2			2							
	ライフ材料化学	3後	2			1							
	高分子科学	3前	2			1							
	エネルギー化学入門	2後	2			1							
	エネルギー材料化学	3前	2			1							
	化学プラント工学	3後	2									1	
	エネルギーシステムデザイン	3後	2			1							
	応用微生物学	2後	2			1							
	発生生物学基礎	2前	2			1							
	進化生物学Ⅰ	2前	2			1							
	進化生物学Ⅱ	2後	2			1							
	海洋生物学	3後	2									1	
	植物科学	3前	2			1							
	植物バイオテクノロジー	3前	2									1	
	動物バイオテクノロジー	3後	2			1							
	生物工学	3後	2			1							
	バイオ製品科学	2後	2			1							
	機器分析	2後	2			1							
	エンジニアリング・デザインと生物模倣技術	3後	2			1						1	
	生命科学Ⅰ	1前	2			1						1	
	生命科学Ⅱ	1後	2			1	1						
	生命有機化学Ⅰ	2後	2			1							
	生命有機化学Ⅱ	3後	2			1							
	生命物理化学	2前	2			1							
	免疫化学	3前	2									1	
	神経生物学	3前	2			1							
	発生生物学	3後	2			1							
進化生態学	3後	2									1		
脳科学	3後	2			1								
バイオイノフオマティクス	3前	2									1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担		
専門関連科目	環境科学	2後	2			1						
	大気・水質環境	3前	2								1	
	環境工学	3前	2		1							
	環境保全学	3後	2								1	
	環境化学計測	3後	2								1	
	医薬・有機合成入門	2後	2		1							
	医薬品合成化学	3前	2								1	
	基礎医学	2後	2								1	
	公衆衛生学	2前	2								2	
	薬理学	3前	2								1	
	化粧品科学	3後	2		1							
	食品機能化学	2前	2		1							
	食品衛生学	2後	2								1	
	食品分析学	3前	2			1						
	食品加工学	3後	2								1	
専門演習科目	生命化学演習	3後	1		2							
	生物科学演習	3後	1		2							
	総合ゼミⅠ	4前	1		10	7						
	総合ゼミⅡ	4後	1		10	7						
	研究実践ゼミナール	3後	1		1							
専門教育科目	応用化学・生物学ユニットプログラムⅠ	1前	4			3	1					
	応用化学・生物学ユニットプログラムⅡ	1後	4			3	1					
	合成化学実験ユニットプログラム	2前	3		2						1	
	物理化学実験ユニットプログラム	2後	3		1	1						
	応用化学実験	3前	2		1		1					
	環境化学実験	3前	2		1							
	微生物学実験	2前	2		1	1						
	生化学実験	2後	2		3	1						
	応用バイオ実験	3前	2		1		2					
	応用バイオユニットプログラム	3後	4		2	2						
	応用バイオプロジェクト	3前	1			1						
	機器分析ユニットプログラム	3後	4		3	1						
	国際化学実験	1・2・3・4後	1		1	1						
	バイオ特別実験	1・2・3・4後	1		1	1						
専門実践科目	生命科学実験Ⅰ	2後	2		2							
	生命科学実験Ⅱ	3前	2		2							
	生命科学ユニットプログラム	3後	4		2							
	プレ卒業研究Ⅰ	2前	1		1							
	プレ卒業研究Ⅱ	2後	1		1							
専門研究科目	プレ卒業研究Ⅲ	3前	1		1							
	プレ卒業研究Ⅳ	3後	1		1							
	卒業研究Ⅰ	4前	3		10	7						
	卒業研究Ⅱ	4後	3		10	7						
	専門教育科目	海外化学研修Ⅰ	1・2・3後	2		1						
海外化学研修Ⅱ		3後	4		1							
海外バイオ研修Ⅰ		1・2・3後	2		1							
海外バイオ研修Ⅱ		3後	4		1							
国際コミュ		2前	1								1	
国際コミュニティバイオ英語Ⅱ		3前	1								1	
中級IT国家資格取得支援講義		3後	2								1	
企業における課題と解決を学ぶ		3前	2		1						3	
小計 (125科目)	—	27	226	11	7	3	0	0	0	41		
合計 (190科目)	—	41	318	0	11	7	3	0	0	106		

卒業要件及び履修方法

共通基盤科目：合計32単位(必修14単位、選択18単位)
 選択科目の内訳：導入系3単位、倫理系2単位、人文社会系2単位
 人文社会系a群・b群・c群各2単位、
 健康・スポーツ系1単位、
 言語系 英語基礎3単位 言語応用a群・b群各2単位
 数理情報系6単位、キャリア系5単位
 専門分野科目：合計77単位(必修27単位、選択50単位)
 任意科目：15単位
 卒業要件：4年以上在籍し、124単位以上修得すること。
 (履修科目の登録の上限：年間44単位、かつ半期24単位)
 なお、共通基盤教育選択科目のうち、技術者倫理、生命倫理から2単位、
 専門分野選択科目のうち、基礎科学Ⅰ-a、基礎科学Ⅰ-bから2単位、
 基礎科学Ⅱ-a、基礎科学Ⅱ-bから2単位をそれぞれ選択必修とする。

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担		
専門関連科目	環境科学	2後	2			1						
	大気・水質環境	3前	2								1	
	環境工学	3前	2		1							
	環境保全学	3後	2								1	
	環境化学計測	3後	2								1	
	医薬・有機合成入門	2後	2		1							
	医薬品合成化学	3前	2								1	
	基礎医学	2後	2								1	
	公衆衛生学	2前	2								2	
	薬理学	3前	2								1	
	化粧品科学	3後	2		1							
	食品機能化学	2前	2		1							
	食品衛生学	2後	2								1	
	食品分析学	3前	2			1						
	食品加工学	3後	2								1	
専門演習科目	生命化学演習	3後	1		2							
	生物科学演習	3後	1		2							
	総合ゼミⅠ	4前	1		10	7			12	5		
	総合ゼミⅡ	4後	1		10	7			12	5		
	研究実践ゼミナール	3後	1		1				1			
専門教育科目	応用化学・生物学ユニットプログラムⅠ	1前	4			3	3	2				
	応用化学・生物学ユニットプログラムⅡ	1後	4			3	1	2				1
	合成化学実験ユニットプログラム	2前	3		2							1
	物理化学実験ユニットプログラム	2後	3		1	1						
	応用化学実験	3前	2		1		1					1
	環境化学実験	3前	2		1							
	微生物学実験	2前	2		1	1						
	生化学実験	2後	2		3	1						
	応用バイオ実験	3前	2		1		2					
	応用バイオユニットプログラム	3後	4		2	2						
	応用バイオプロジェクト	3前	1			1						
	機器分析ユニットプログラム	3後	4		3	1						
	国際化学実験	1・2・3・4後	1		1	1						
	バイオ特別実験	1・2・3・4後	1		1	1						
専門実践科目	生命科学実験Ⅰ	2後	2		2							
	生命科学実験Ⅱ	3前	2		2							
	生命科学ユニットプログラム	3後	4		2							
	プレ卒業研究Ⅰ	2前	1		1							
	プレ卒業研究Ⅱ	2後	1		1							
専門研究科目	プレ卒業研究Ⅲ	3前	1		1							
	プレ卒業研究Ⅳ	3後	1		1							
	卒業研究Ⅰ	4前	3		10	7			12	5		
	卒業研究Ⅱ	4後	3		10	7			12	5		
	専門教育科目	海外化学研修Ⅰ	1・2・3後	2		1						
海外化学研修Ⅱ		3後	4		1							
海外バイオ研修Ⅰ		1・2・3後	2		1							
海外バイオ研修Ⅱ		3後	4		1							
国際コミュ		2前	1								1	
国際コミュニティバイオ英語Ⅱ		3前	1								1	
中級IT国家資格取得支援講義		3後	2								1	
企業における課題と解決を学ぶ		3前	2		1						3	
小計 (125科目)	—	27	226	11	7	3	0	0	0	44		
合計 (183科目)	—	41	304	0	11	7	3	0	0	120		

卒業要件及び履修方法

共通基盤科目：合計32単位(必修14単位、選択18単位)
 選択科目の内訳：導入系3単位、倫理系2単位、人文社会系2単位
 人文社会系a群・b群・c群各2単位、
 健康・スポーツ系1単位、
 言語系 英語基礎3単位 言語応用a群・b群各2単位
 数理情報系6単位、キャリア系5単位
 専門分野科目：合計77単位(必修27単位、選択50単位)
 任意科目：15単位
 卒業要件：修業年限4年を満了し、124単位以上修得すること。あるいは3年以上在籍し、本学の定める卒業要件の単位数を優秀な成績をもって修得したと認められる者については、卒業を認めることが出来るものとする。
 (履修科目の登録の上限：年間44単位、かつ半期24単位)
 なお、共通基盤教育選択科目のうち、技術者倫理、生命倫理から2単位、
 専門分野選択科目のうち、基礎科学Ⅰ-a、基礎科学Ⅰ-bから2単位、
 基礎科学Ⅱ-a、基礎科学Ⅱ-bから2単位をそれぞれ選択必修とする。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・[アカデミックICTスキル]担当専任教員追加のため「教授0名」から「教授1名」、「講師0名」から「講師1名」、及び担当兼任教員追加のため、1名から6名に変更 ・[専門分野概論]担当専任教員追加及び昇格のため「教授2名」から「教授14名」、「准教授0名」から「准教授6名」、「講師0名」から「講師1名」、担当兼任教員追加のため、0名から2名に変更 ・[理工学入門]担当兼任教員追加のため、6名から15名に変更 ・[健康・スポーツ科学実習Ⅰ]兼任講師辞退のため、3名から2名に変更 ・[健康・スポーツ科学実習Ⅱ]兼任講師追加のため、2名から3名に変更 ・[英語Ⅳ]担当兼任教員の科目変更のため、6名から5名に変更 ・[日本語表現技術]担当兼任教員追加のため、3名から4名に変更 ・[実感する科学]専任教員追加のため「講師1名」から「講師2名」、担当兼任教員科目変更のため、2名から1名へ変更 ・[情報・AⅠリテラシー（情報基礎）]担当専任教員追加及び昇格のため、「教授0名」から「教授2名」へ変更 ・[物理・化学ユニットプログラム]担当兼任講師辞退のため、9名から8名に変更 ・[応用化学概論]担当専任教員追加のため、「教授1名」から「教授4名」、「准教授1名」から「准教授3名」へ変更 ・[生物工学概論]担当専任教員追加及び昇格のため、「教授2名」から「教授7名」、「准教授0名」から「准教授5名」、担当兼任教員追加のため、0名から1名へ変更 ・[分析化学]担当専任教員追加のため、「准教授0名」から「准教授1名」、担当兼任教員追加のため、0名から1名へ変更 ・[地球と生命の元素]担当専任教員就任辞退のため、「講師1名」「講師0名」、担当兼任教員追加のため、0名から1名へ変更 ・[身の回りの金属元素]担当専任教員就任辞退のため、「講師1名」「講師0名」、担当兼任教員追加のため、0名から1名へ変更 ・[化学反応はなぜ進行するのか]担当専任教員就任辞退のため、「講師1名」「講師0名」、担当兼任教員追加のため、0名から1名へ変更 ・[動物バイオテクノロジー]担当専任教員昇格のため、「教授0名」か「教授1名」、「准教授1名」から「准教授0名」に変更 ・[生物工学]担当専任教員昇格のため、「教授0名」か「教授1名」、「准教授1名」から「准教授0名」に変更 ・[バイオ製品科学]担当専任教員昇格のため、「教授0名」か「教授1名」、「准教授1名」から「准教授0名」に変更 ・[生命科学Ⅱ]担当専任教員昇格のため、「教授1名」か「教授2名」、「准教授1名」から「准教授0名」に変更 ・[総合ゼミⅠ]担当専任教員昇格のため、「教授10名」か「教授12名」、「准教授7名」から「准教授5名」に変更 ・[総合ゼミⅡ]担当専任教員昇格のため、「教授10名」か「教授12名」、「准教授7名」から「准教授5名」に変更 ・[応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ]担当専任教員追加のため、「教授1名」か「教授3名」、「准教授0名」から「准教授3名」、「講師0名」から「講師2名」に変更 ・[応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ]担当専任教員追加及び昇格のため、「教授3名」か「教授7名」、「講師0名」から「講師2名」、担当兼任講師、0名から1名に変更 ・[応用化学実験]担当専任教員就任辞退のため、「講師1名」から「講師0名」へ変更。担当兼任講師追加のため、0名から1名へ変更 ・[卒業研究Ⅰ]担当専任教員昇格のため、「教授10名」か「教授12名」、「准教授7名」から「准教授5名」に変更 ・[卒業研究Ⅱ]担当専任教員昇格のため、「教授10名」か「教授12名」、「准教授7名」から「准教授5名」に変更
--

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
21 科目	109 科目	0 科目	190 科目	21 科目 [±0]	102 科目 [-7]	0 科目 [±0]	183 科目 [-7]	教職課程科目を学位プログラムから削除による

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	[教職] 学校と教育の歴史	2	1後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため
2	[教職] 教育心理学	2	1後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため
3	[教職] 教職概論	2	1前・後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため
4	[教職] 教育相談	2	3後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため
5	[教職] 教育課程論	2	3後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため
6	[教職] 教育行政論	2	2後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため
7	[教職] 総合的な学習の時間の理論と実践	2	2後	一般	選択	教職課程履修者のみ対象、かつ学位授与に直接関わらないため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該の7科目は、教職課程履修学生のみを対象としており、学科在学生全てが履修するものではなく、また直接の学位授与に係る科目ではないため削除とした。教職課程履修希望学生には、オリエンテーションにて説明・周知をしており、履修への影響はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{190} = \boxed{3.68} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	88,546.13㎡	0㎡	0㎡	88,546.13㎡			
	運動場用地	38,015.93㎡	0㎡	0㎡	38,015.93㎡			
	小 計	126,562.06㎡	0㎡	0㎡	126,562.06㎡			
	そ の 他	7,941.69㎡	0㎡	0㎡	7,941.69㎡			
	合 計	134,503.75㎡	0㎡	0㎡	134,503.75㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	99,533.35㎡ (97,558.35㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	99,533.35㎡ (97,558.35㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	68室	12室	71室	13室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	工学部 応用化学生物学科		22 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				点
	工学部 応用化学生物 学科	5750 [439] (5730 [424])	141 [102] (141 [102])	5 [5] (5 [5])	176 (178)	0 (0)	0 (0)	
	計	5750 [439] (5730 [424])	141 [102] (141 [102])	5 [5] (5 [5])	176 (178)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
	5,021.5㎡		664席	210,111冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	6,706.61㎡		野球場1面、サッカー場1面 テニスコート4面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	148千円	148千円	図書購入費	580千円	525千円	525千円
	共同研究費等	21,459千円	21,459千円	設備購入費	24,235千円	24,235千円	24,235千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,570千円	1,390千円	1,410千円	1,430千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で記入**してください。
 なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神奈川工科大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部	4	448	—	1222	—	0.84	—	—	—	神奈川県厚木市下荻野1030番地				
機械工学科	4	175	—	535	学士(工学)	0.84	—	—	昭和50年度	同上				
電気電子情報工学科	4	128	—	362	学士(工学)	1.02	0.99	—	昭和50年度	同上				
応用化学科	4	—	—	—	—	—	—	—	昭和50年度	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
応用化学生物学科	4	145	—	145	学士(工学)	0.49	0.49	—	令和6年度	同上				
情報学部	4	540	—	1880	—	1.07	0.95	—	—	同上				
情報工学科	4	170	—	665	学士(工学)	1.10	0.94	—	平成15年度	同上				
情報ネットワーク・コミュニケーション学科	4	110	—	430	学士(工学)	1.10	0.93	—	平成16年度	同上				
情報メディア学科	4	180	—	705	学士(工学)	1.07	0.95	—	平成16年度	同上				
情報システム学科	4	80	—	320	学士(工学)	0.74	0.74	—	令和6年度	同上				
創造工学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	同上				
自動車システム開発工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成20年度	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
ロボット・メカトロニクス学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成20年度	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
ホームエレクトロニクス開発工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成20年度	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
応用バイオ科学部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	同上				
応用バイオ科学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成20年度	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
健康医療科学部	4	1148	—	4592	—	0.92	—	—	—	同上				
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	0.90	—	—	令和2年度	同上				
管理栄養学科	4	40	—	160	学士(栄養学)	0.85	—	—	令和2年度	同上				
臨床工学科	4	40	—	160	学士(工学)	0.78	—	—	令和2年度	同上				
大学全体	4	1148	—	3802	—	—	—	—	—	—				

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内しておりますのでご参照ください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・市村重俊教授に「専門分野概論」を追加する。「生物工学概論」は、小池あゆみ教授に担当変更する。
- ・小池あゆみ教授に「専門分野概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」を追加する。
- ・齋藤貴教授に「専門分野概論」「応用化学概論」を追加する。
- ・茂野文市教授に「専門分野概論」「情報・AIリテラシー（情報基礎）」「応用化学概論」を追加する。
- ・清水秀信教授に「専門分野概論」を追加する。
- ・高村岳樹教授に「アカデミックICTスキル」「専門分野概論」「応用化学概論」「生物工学概論」を追加する。
- ・野田毅教授に「専門分野概論」「生物工学概論」を追加する。「有機化学」は、山口淳一教授に担当変更する。
- ・村田隆教授に「専門分野概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」を追加する。
- ・森川浩教授に「応用化学概論」は齋藤貴教授、「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」は小澤秀夫准教授に担当変更する。
- ・山口淳一教授に「専門分野概論」「応用化学概論」「有機化学」を追加する。
- ・井上英樹教授は、令和5年5月に教授昇格。「専門分野概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」を追加する。
- ・村山美乃教授は、令和5年10月に就任。「専門分野概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」を担当する。
- ・大庭武泰准教授は、「専門分野概論」「生物工学概論」を追加する。「応用化学概論」は、高村岳樹教授に担当変更する。「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」は、山下直也准教授に担当変更する。「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」は、仲電誠司教授に担当変更する。
- ・小澤秀夫准教授に、「専門分野概論」「情報・AIリテラシー（情報基礎）」「応用化学概論」「生物工学概論」「分析化学」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」を追加する。
- ・仲電誠司教授は、令和5年5月に教授昇格。「専門分野概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」を追加する。
- ・山下直也准教授に「専門分野概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」を追加する。
- ・山村晃准教授に「専門分野概論」「応用化学概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」「バイオ特別実験」を追加する。
- ・和田理征准教授に、「専門分野概論」を追加する。
- ・柴田大輔准教授は、令和5年9月に就任。「専門分野概論」「応用化学概論」「生物工学概論」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」を担当する。
- ・長尾明美講師は、令和6年3月に自己都合により就任辞退。「身の回りの化学」は、兼任教員が担当する。「実感する科学」は、根本泰講師が担当する。「情報・AIリテラシー（情報基礎）」は茂野文市教授が担当する。「地球と生命の元素」「身の回りの金属元素」「化学反応はなぜ進行するのか」「応用化学実験」はそれぞれ兼任講師が担当するため支障はない。
- ・和田善成講師は、令和5年3月に自己都合により就任辞退。「応用バイオ実験」「応用バイオユニットプログラム」は、齋藤礼弥講師が担当する。
- ・齋藤礼弥講師は、令和5年12月就任。「アカデミックICTスキル」「専門分野概論」「実感する科学」「情報・AIリテラシー（情報基礎）」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」「応用バイオ実験」「応用バイオユニットプログラム」を担当する。□
- ・根本泰講師は、令和6年4月就任。「実感する科学」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅠ」「応用化学・生物工学ユニットプログラムⅡ」を担当する。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	5
10	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
11	7	3	0	21	0	14	6	3	0	23	0
(11)	(7)	(3)	(0)	(21)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
14	6	3	0	23	0	14	6	3	0	23	0
[3]	[Δ1]	[0]	[0]	[2]	[0]	[3]	[Δ1]	[0]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{21} = \boxed{109.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	和田 善成	R5.3	選択	応用バイオ実験	①	自己都合のため就任辞退（6）			
				選択	応用バイオユニットプログラム	①				
1	講師	長尾 明美	R6.3	必修	身の回りの数学	②	自己都合のため就任辞退（6）			
				必修	実感する科学	①				
				必修	情報 A1 リテラシー（情報基礎）	①				
				選択	地球と生命の元素	②				
				選択	身の回りの金属元素	②				
				選択	化学反応はなぜ進行するのか	②				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	0	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	2	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	3	科目	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	2	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	4	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{21} = 9.52\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員（講師）が就任辞退および辞任となったが、後任の専任教員（講師）および専任教員（教授）、兼任講師、兼任講師が科目を引きついでおり、学科運営及び授業並びに学生に支障はない。その周知については、学科オリエンテーションおよびクラス担任から学生に伝えている。(6)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和6年)	工学部電気電子情報工 学科の収容定員超過の 是正に努めること	【届出】 遵守事項 令和6年度より、電気電子情報工学 科とホームエレクトロニクス開発学 科を学科再編することにより、収容 定員の見直しを行った。	履行済
届 出 時 (令和6年)	情報学部情報ネットワ ーク・コミュニケーション 学科の収容定員超過の是 正に努めること	【届出】 遵守事項 令和6年度より、情報学部の再編を 行い、収容定員の見直しを行った。	履行済
届 出 時 (令和6年)	応用バイオ科学部応用 バイオ科学科の収容定 員未充足の是正に努め ること	【届出】 遵守事項 令和6年度より、学部・学科の再編 を行い、収容定員の見直しを行っ た。	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 応用化学生物学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 卒業要件 4年以上在籍し、124単位以上修得すること</p> <p>② 授業期間等 1学年の学期区分：2期 1学期の授業期間：15週 1時限の授業時間：90分</p>	<p>① 令和4年度大学設置基準等の改正対応として、学則の卒業要件から「大学に4年以上在学し」との文言を削除したことにより、卒業要件を以下のように変更した。 修業年限4年を満了し、124単位以上修得すること。 あるいは3年以上在学し、本学の定める卒業要件の単位数を優秀な成績をもって修得したと認められる者については、卒業を認めることができるものとする。</p> <p>② 全学的な教育改革の一環として推進を計画していた授業時間・期間の変更について、設置届出書類提出後に学内にて正式決定したため、以下のように変更した。 1学年の学期区分：2期（変更なし） 1学期の授業期間：14週 1時限の授業時間：100分</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会（規程別添①） ・教育開発センター運営委員会（規程別添②） ・3つのポリシー運用委員会（規程別添③） ・学科会議：応用化学科、応用バイオ科学科の教員会議として、それぞれで実施。 ・合同学科会議：応用化学生物学科構成員となる応用化学科、応用バイオ科学科の全教員で実施。 ・新学科検討会議：応用化学科から4名、応用バイオ科学科から5名の教員で実施。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会：月に1回（その他臨時）会議を開催。委員として各学科より1～2名選出。 ・教育開発センター運営委員会：月に1回（その他随時）会議を開催。各学科より運営委員として1名参加。 ・3つのポリシー運用委員会：年に1回（その他随時）会議を開催。各学科より学科長が運用委員として参加。 ・学科会議：応用化学科、応用バイオ科学科のそれぞれで、月に1回程度実施。教員参加率は9割程度。 ・合同学科会議：2024年1月以降、月に1回程度実施。教員参加率は9割程度。 ・新学科検討会議：月に1回（その他随時）実施。委員参加率は9割程度。
--

- c 委員会の審議事項等
 - ・教務委員会：学籍、非常勤講師委嘱、単位認定、カリキュラム、履修・成績等の審議及び報告・連絡。
 - ・教育開発センター運営委員会：教育のPDCAの実施と検証。
FD・SDの企画立案など、教員の教育力向上に関わることがら。
 - ・3つのポリシー運用委員会：3つのポリシーの策定・運用・評価・改善にかかる事項。
3つのポリシーに基づく到達目標・教育計画・入試計画の達成度評価に関する事項。
 - ・学科会議：応用化学科、応用バイオ科学科のそれぞれで、卒研・進級判定、研究室配属、学生対応に関する事項。
 - ・合同学科会議：入試合否判定、応用化学生物学科の履修要綱や卒業条件の審議、各種運営委員の選定、入学者対応に関する事項。
 - ・新学科検討会議：合同学科会議に出す素案作成、新学科の履修要綱や卒業条件の検討、定員充足確保対策の考案。

② 実施状況

a 実施内容

- ・学士課程の構築
- ・各科目とのDPの対応
- ・授業評価アンケート
- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会
- ・教職員研修会
- ・非常勤講師との意見交換会
- ・定員充足への対策

b 実施方法

- ・教務委員会、教育開発センター運営委員会、3つのポリシー運用委員会にて発案・協議され、その後大学協議会にて承認がなされ、学長により決定される。
- ・学科会議にて実施し、それぞれの学科長を議長として、審議・確認を行った。
- ・合同学科会議、および新学科検討会議にて実施し、新学科長候補者を議長として、審議・確認を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業アンケート：令和5年度前期、後期に各1回行った。
- ・教員相互の授業参観：対面で授業を公開した。
- ・教員研修会：大学全体の講演形式はzoomで、非常勤講師との懇談会は対面で行った。
- ・教員自己点検評価の実施：専任教員は全員提出。令和5年12月に結果の解析・分析結果をウェブ配信した。
- ・学科会議、合同学科会議の教員参加率は9割程度。新学科検討会議は、ほぼ全員参加であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教務委員が、大学全体のシラバス、授業運営、授業形態の変更方針や、学科学生の単位修得状況を説明し、教員全体で意見交換を行い、問題点や改善点を共有した。
- ・新学科検討会議や合同学科会議にて、応用化学生物学科のカリキュラムポリシーを踏まえた科目の必選の設定や難易度の設定、科目群と履修モデルを審議し決定した。
- ・授業アンケートの結果を各教員に報告し、授業方法の改善を促した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和5年度前期：7月18日（火）～7月31日（月）および後期：1月6日（土）～1月22日（月）の2回、web方式で実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの大学全体の集計結果およびアンケート結果に対する教員のコメントをつけて、「よりよい教育を目指して」と題する冊子を作成し、全教職員に配布するとともに、学内の学生の共用スペースに置き、学生も閲覧出来るようにしている。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
工学分野では、機械・材料・電気・電子・建築・土木・化学といった工学における基幹分野の社会的な必要性や重要性が認知されているところであるが、一方で、基幹分野の一つを中核とした学問分野の広がりや、基幹分野間の融合、基幹分野から社会的応用への展開など、学術研究の進展による多様な教育体系が試行されており、工学教育の学際化や総合化への積極的な対応が必要となってきた。このような工学教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、学部教育としての教育研究の体制や機能をより一層の強化をするため、既設の工学部応用化学科と応用バイオ科学部応用バイオ科学科を改組転換して設置することとした。
2023年度中に、応用化学生物学科における配当表や卒業要件を策定でき、冊子に明文化した。アドミッションポリシーをもとに、入学生も受け入れることができた。計画した初年次4月冒頭授業（専門概論、アカデミックICTスキル）を予定通り行うことができ、順調にスタートしているといえる。学年進級に伴う科目群の運営方法を議論している。このように、設置目的に関しては、計画達成に向かって着実に歩んでいるが、定員充足について改善が必要である。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・令和6年6月末日
- b 公表方法
・大学ホームページにて公開
評価機関（大学基準協会）の点検評価項目を満たした内容として、各年度の事業報告書を公表しており、是正・改善項目についても含まれている。
・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員全員及び希望があった学生に各1冊を配布のほか、関連大学および厚木中央図書館へ配付。
- ③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
・令和7年に評価機関（大学基準協会）の認証評価を受ける予定。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和5年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。